

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善事項・工夫している点等
環境・ 体制整備	①	利用定員に対し受け入れスペースは適切である	7	2	0	医療的ケア児（者）利用数が増えると少しフロアが狭い。
	②	職員の配置数は適切である	7	3	0	利用者に対してのスタッフ数が合わない場合がある。人数的には足りていると思うが曜日と時間によってスタッフの動きが異なる。
	③	事業所の設備や生活空間等について、バリアフリー化等の配慮が適切になされている	5	4	1	畳部屋への段差がある。利用者に合わせての入浴ストレッチャーが可動式ではない。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている	7	3	0	清潔とは言えないことがある。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が関与している	6	3	1	振り返りからの新たな目標設定をしても評価していない場合がある。直接関わるスタッフからのプランも入れて欲しい。そもそもPDCAサイクルが周知できていないと思う。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	9	1	0	
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の広報紙やホームページ等で公開している	9	0	1	事業所入り口に掲載している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	0	事業所内での研修や振り返りの時間は確保できていない。事業所内外の研修に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、利用者と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	0	アセスメント時、現状での課題を取り入れている。
	⑩	放課後等デイサービスについては、放課後等デイサービスガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	1	0	
	⑪	児童発達支援計画については、児童発達支援ガイドライン内の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1	0	
	⑫	個別支援計画に沿った支援が行われている	10	0	0	
	⑬	活動計画の立案をチームで行っている	7	8	0	チームというのがどこまでかが分からない
	⑭	活動計画が固定化しない様工夫している	8	7	0	毎月、新規の企画を取り入れている。
	⑮	放課後等デイサービスでは、平日・休日・長期休暇に応じて、課題を設定して支援している	5	5	0	課題設定が実施できていない場合がある。個々の利用者によって設定している人としていない人がいる。
	⑯	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成している	10	0	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認をしている	8	2	0	
	⑱	支援終了後には、伝達ノート等を利用し、気付いた点等を共有している	8	2	0	時に記入漏れがある場合がある。ご家族等の要望があった場合も活用している。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	0	
	⑳	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1	0	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、利用者の状況をよく把握した者が関与している	9	1	0	
	22	学校や保育園、子育て支援等の関係者と連携した支援を行っている	4	6	0	保育園とは出来ていない
	23	医療的ケア児が利用するにあたり、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	5	0	
	24	医療的ケア児が利用するにあたり、利用者の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	4	1	連絡体制は整えられておらず緊急時に困ることがある。利用者との母親を介して相談をしてもらっているが連絡体制はできていない。
	25	移行支援として、保育園や学校等の各種関連機関との情報共有と相互理解を図っている	6	3	1	
	26	就学前に利用していた保育所や児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っている	7	2	1	家族経由での情報提供が多く相互的な理解は図られていないと思う。
	27	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0	
保護者への説明責任等	28	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	2	0	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2	1	コロナ禍の為出来ていなかった
	30	保護者会等を開催する事により、保護者同士の連携を支援している	0	3	7	コロナ禍の為出来ていなかった。保護者会の開催の必要性を感じる。
	31	利用者や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備すると共に、利用者や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	3	0	もっと早く対応してほしいことがあることがある。スタッフへの共有も可能であれば伝達も欲しい。
	32	定期的に広報紙等を発行し、活動の様子や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に発信している	5	5	0	広報誌の発信が少ない
	33	個人情報に十分注意している	10	0	0	カメラの紛失があったため、十分に注意したい。個人との温度差がある。
	34	障害種別(聴覚・視覚障害等)に応じた利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	2	0	
非常時の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し周知している	10	0	0	
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	0	
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	事業所内の研修に参加している。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前に十分な説明を行い了解を得ている	10	0	0	
	39	服薬や予防接種、てんかん発作等利用者の状況を家族に確認している	10	0	0	
	40	食物アレルギーのある利用者について、アレルギー食の提供等の適切な対応がされている	10	0	0	
	41	ヒヤリハット事例を事業所内で共有している	10	0	0	リスクマネジメント委員会を通して情報収集を行っている。